

## 村上岩船定住自立圏共生ビジョン審議会 議事録

会議名	第2回 村上岩船定住自立圏共生ビジョン審議会		
年月日	令和6年11月5日(火) 16:00～17:00		
会場	村上市役所 第5会議室		
出席者	<p><b>【委員】</b>          関川村商工会女性部          越後村上物産会          いわふね森林組合          村上市消防団          村上地域グリーン・ツーリズム協議会          北新潟農業協同組合にいがた岩船本部          村上地域振興局健康福祉部          村上市図書館協議会          NPO法人都岐沙羅パートナーズセンター</p> <p><b>【村上市】</b>          村上市          企画戦略課          企画戦略課 企画政策室          企画戦略課 企画政策室          企画戦略課 企画政策室          企画戦略課 企画政策室          企画戦略課 企画政策室</p> <p><b>【関川村】</b>          地域政策課          地域政策課 地域振興班</p> <p><b>【栗島浦村】</b>          総務課          総務課 企画政策係</p>	<p>事務局長          代表理事組合長          団長          事務局長          本部長          部長          会長          理事</p> <p>政策監          課長          課長補佐          係長          係長          主査          主事</p> <p>課長          主幹</p> <p>課長</p>	<p>伊藤真由美          大滝 香織          小田 幸男          加藤 辰博          鈴木 信之          瀬賀 一幸          園田 裕久          山口又一郎          渡辺ひろみ</p> <p>須賀 光利          山田美和子          忠 康博          中山 幸代          増子 友昭          山田 浩介          安藤 由香</p> <p>米野 哲弘          渡辺 輝章</p> <p>儀同 政宏          深沢 浩</p>
[進行] 事務局	1. 開会 〈あいさつ〉		
鈴木会長 (以下、会長)	2. 挨拶 〈会長あいさつ〉		
事務局	これより、村上岩船定住自立圏共生ビジョン審議会条例第6条第1項の規定により会長が議長となります。それでは会長よろしくお願ひいたします。		
会長	3. 議事 それでは議事に入ります。議事(1)「第3次村上岩船定住自立圏共生ビジョンの策定」について事務局より説明をいただいた後、皆様から質問をいただきたいと思ひます。それでは事務局より説明をお願ひします。		

事務局	(1) 第3次村上岩船定住自立圏共生ビジョンの策定【資料1・2】 (事務局が資料を説明)
会長	それでは説明いただいた点について皆様の方から質問、意見等ございましたら、よろしく願いいたします。
会長	私のほうから1点お聞きしますが、公共交通の資源活用について、今現在の状況はどうなっていますか。
事務局	村上市に限らず全国的にバスの運転手不足の状況の中で、村上市では10月1日からこれまで民間事業者が運営していたバスの運行を、市の地域公共交通活性化協議会で運行することとし、内容の見直しを行いました。バスを減便する代わりに乗り合いタクシーの乗降場所を増やし、利用者の少ない地域はバスから乗り合いタクシーへ移行するなどして、市民の利便性向上を図っております。
会長	料金的には何か変化がありましたか。
事務局	料金も見直しを行いました。バスについてはゾーン制運賃に変わりました。ゾーン内の移動であれば100円、ゾーンをまたぐ場合は200円というような形になりました。山北の大毎から村上地域への移動では、これまで1000円ほどかかっていたところが、格安で移動できるようになりました。乗り合いタクシーも料金の見直しを行い、距離に応じて300円と600円の区分で利用できます。
委員	<p>村上市では、バイオマス発電関係で約3万トンの木材が必要だと示されたところですが、しかしながら、木材にはA材、B材、C材と区分がありまして、バイオマス発電で利用するC材を確保するには、C材だけを選んで切るということではなく、すべて切って、その中からC材を選別する方法でない、効率的に生産ができません。C材を大量に生産するためには、A材、B材の販売ルートを確保することが必要となってきますので、市と連携しながら販売先を模索しているところです。確保ができれば、林業の活性化にもつながると思いますが、非常に難しい部分もあります。</p> <p>現在、国の政策で脱炭素、そして無花粉杉を推進するために、伐採して新しい木を植えるよう言われています。ただ、全国的に伐採を進めれば、市場がだぶついて木材価格が大暴落を起こす危険性もあります。そのあたりも解決策を見出しながら林業には取り組まなければならないというのが実情です。</p>
会長	関川村でもバイオマス発電を推進していると思いますが、連携という部分では何かしていますか。
事務局	バイオマス関連の事業については、当初の予定と変更になった部分もありますが、連携という部分については現時点では把握しておりません。

委員	<p>村上市のバイオマス発電、2千キロワットの発電に3万トンの材が必要というのは今年度になって示された数字ですが、関川村のバイオマス発電についてはそれ以前から情報がありましたので、関川森林組合といわふね森林組合、村上市森林組合の3組合で、協力してやっていきたいと思いますというような話はしていました。ただ、今回、村上市が大量の材を必要とするとなると、両立させるのは非常に難しいと感じております。やはりC材を確保するには、皆伐といひまして、全部切っていくという仕事をしなければ効率がありませんので、そのあたりを考えていく必要があると思っています。</p>
委員	<p>公共交通ネットワーク事業について、第2次共生ビジョンの目標値が1万2千人程度に対し、第3次では70人という数字に修正されている要因はなんですか。</p>
事務局	<p>第2次共生ビジョンの目標値は、各市村が運営している乗り合いタクシーの利用者数の総数になっておりましたが、第3次では総数ではなく、圏域内で乗り合いタクシーを相互利用した人数の合計を目標値としております。令和5年度の現状値でいいますと、乗り合いタクシーの利用者総数1万2千人のうち、相互利用をした方は7名であったということになります。</p>
事務局	<p>現状としては、関川のえぶり号という乗り合いタクシーが村上市の坂町エリアにも行っており、村上市の方も使える制度になっています。村上市も同様に、村上エリアの乗り合いタクシーを関川村の方も使えることになっていますが、なかなか利用する方がいない状況です。まだ決定している話ではありませんが、村上市から提案いただいている内容としては、新潟市までいく高速バスを関川村の方も使えるようにして、相互利用を進めていこうというお話もありますので、そういった利用者数を目標として70人という数字で挙げております。</p>
事務局	<p>粟島浦村が運行している乗り合いタクシーは、岩船港から通院、買い物の足を確保しようという目的で事業化していますが、船の運航に合わせて運行しているものになりますので、船が動かないときは運行がありません。ただ、予約制になりますので予約をしていただければ、村上市、関川村の方、観光客の方も利用が可能です。公共交通機関が縮小されていく中で、村上市との相互利用の話も挙げておりましたが、粟島浦村のものは船が動かないと予約もできない形になりますので、いろいろと条件があるのですが、公共交通の事業者の縮小、運転士不足の中で、お互いにうまく連携していきたいと考えております。</p> <p>乗り合いタクシーというものが、公共交通機関、バス等に代わる一つの手段として考えられてきたのが第2次共生ビジョンの5年間ですが、第3次の5年間は、効率的に使っていくということを目指しています。ただ、やはり村費で運営しているものになりますので、相互利用のネックになっている部分にあるのですが、今後うまく事業化していきたいと思っています。</p>
委員	<p>資料1のP.2で村上市の観光名所がいろいろと出されていますが、関川村さんが大石ダムやキャンプ場などの景観のよい名所をいれておりますので、村上市にも奥三面や二子島を入れてもよいのではないかと思います。</p>

事務局	<p>また、資料1のP.9ですが、村上市の人口推移の目標値が、推計値よりも7千人程度多く設定されております。目標値は設定すればよいというのではなく、設定した以上は達成するための手段が必要だと思っておりますので、この7千人を埋めるためにどのような方策を考えておられますか。</p> <p>人口については委員のおっしゃるとおり、現実と離れているのが現状になります。この数字は令和2年度に策定した人口ビジョンから持ってきておりまして、合計特殊出生率を2.0まで上昇させるというような目標を掲げておりますが、この計画については来年度、再来年度で見直しを行いますので、その時点で修正をさせていただきたいと考えております。総合計画の見直しもありますので、出生率だけではなく、人口減少を抑えるような具体的な取り組みについても考えてまいりたいと思います。</p>
委員	<p>第3次共生ビジョンから、「自殺予防対策」を「自殺対策」に統一して修正した理由はありますか。</p>
事務局	<p>以前は自殺予防対策という言葉を使っておりましたが、「予防」を「対策」するという、同じような言葉を繰り返し使っているような印象を受ける言葉だということで、自殺対策に修正を行っています。</p>
委員	<p>昨年度は高温湯水で米が白く濁っており、品質が落ちていたのですが、今年度は夏までは順調に進んでいたところでした。ゲリラ豪雨による倒伏や、秋の長雨が目立ち、刈れないものもありまして、収量が落ちているところもあります。ただ、収量は落ちています、需要と供給のバランスの部分で買い入れ価格が上がっておりますので、農家には還元ができております。次年度以降も主食用米と水田活用米穀も含めて需給調整に取り組む事が必要になってくると思われまます。</p>
委員	<p>医師養成修学資金の貸与事業について、若手医師を確保しても、9年間の勤務が終わった後に出て行ってしまうという課題があると思うのですが、その部分の対策はあるのでしょうか。</p>
事務局	<p>関川村では医師養成修学資金貸与事業がメインで、それ以外の事業は今、取り組んでおりません。</p>
事務局	<p>村上市では県の制度に加えて、市の奨学金制度や医師の海外研修に対する補助等を行っておりますが、これらの制度も研修期間を過ぎると必ず村上市に残ってくれるという話ではないので、将来的にずっと市内にいていただくということにはつながりにくい部分もあります。地元出身の学生に奨学金を借りてもらって、定住をしていただければありがたいと考えております。</p>
事務局	<p>粟島浦村では独自の制度というものはありませんが、医師に限らず奨学金制度の見直しを行いながらいろいろな職種業種の方に粟島浦村、そしてこのエリアにいていただけるよう、事業のほうは工夫しております。医師に関しては単独の市町村ではカバーできないような状況でありますので、連携をして、この圏域内で働きかけていきたいと思っております。</p>

委員	<p>奨学金を出して9年間をつなぎとめるということも、とても効果的であると思いますが、その後も残っていただきたいと考え、研修制度だけではなく生活面でのメリットがないと選んでいただけないのではないかと、ところが少し気になりました。その点についても圏域内で連携していければよいと思いました。</p>
会長	<p>私どもの集落で、昨年度から民間病院の研修医がいろいろな形で地域と連携する取り組みを行っています。粟島浦村さんでも、研修医が島にいらっしゃって、オンラインでの取り組みも実施されていると思います。この方たちがどうにか残っていただき、自分は別の地域に行っても、後任の研修医が地域とつながるような仕組みをこれから考えていこうとしております。11月2日は旧旭村の荒沢集落で、お茶を飲みながら医療の話をしていただいたり、夏には北大平集落で熱中症対策の話の話を聞いたりしました。集落のお年寄りの方たちがまたやってほしいと喜んでくれた意見もありましたので、地域とのつながりがうまくできるということもありますので、そういう部分にも助成を頂ければありがたいと思います。</p>
事務局	<p>粟島浦村は離島という特殊性があり、医者がいないため、急患対応には常に苦労している訳ですが、夏の間は村上病院の若手研修医が1週間交代で来ていただいているんですが、それも9月くらいまでで、冬季の対応については課題があります。奨学金制度を使っていただいて、若手の方に圏域にいていただいて、夏の間だけでも村へ来ていただける形を続けていければありがたいと思っております。</p>
委員	<p>大阪万博を契機に、2、3年前から観光・物産フェアということで関西のほうへPRしておりますが、昨年度も来てくださった方が再び来てくださるなど、着実に認知度が上がってきているように感じております。こんなにおいしいお米は食べたことがない、という反応もいただいております。いい方向に向かっていると思っております。市と連携しながらこのようにPRしていただけるのは本当にありがたいと思っております。</p> <p>2025年の大阪万博へ向けて、村上市としてどのような形で出展をするのか、決まっていることがあれば教えていただけますか。また、関川村、粟島浦村のほうで何か取り組んでいることがあれば併せて教えてください。</p>
事務局	<p>村上市では、万博期間中に全国の市町村長の連合体である首長連合として、7月28日から4日間、催事を行う予定です。大阪府松原市、和歌山県有田市、佐賀県多久市、山口県長門市と共に、おにぎりを軸として各市の特産品をPRしていくところですが、村上市としては鮭、お米を推していきたいと考えております。また、この首長連合とは別におにぎり協会という枠組みの中での取り組みもあり、こちらは民間事業者の飲食ブースで万博期間中とおして村上市の鮭を提供できるように進めております。ほかに、村上市がスケートボード施設協議会の会長となっておりまして、同じくスケートボードに力を入れている大阪府松原市に、万博期間中に大会を実施したいというお話もいただいておりますので、連携しながらスケートボードのPRも進めていきたいと考えております。</p>

事務局	<p>関川村では、大阪万博に出展するという予定はありませんが、村上市と協力できることがあれば今後ご相談させていただきたいと思います。</p>
事務局	<p>粟島浦村も出展予定はありませんが、この圏域でPRできることがあればぜひ協力していきたいと思います。</p>
事務局	<p>新潟県として観光PRをするという話も伺っておりますので、そちらのほうでも圏域として協力できるところは協力していきたいと考えておりますので、情報が入りましたら共有していきたいと考えております。</p>
会長	<p>それでは、以上をもちまして議事を終えたいと思います。進行を事務局の方にお返しします。</p>
事務局	<p><b>4. その他</b> 〈事務局より事務連絡〉</p>
事務局	<p><b>5. 閉会</b> 以上をもちまして、令和6年度第2回村上岩船定住自立圏共生ビジョン審議会を終了します。本日は大変ありがとうございました。</p>